

平成 30 年 5 月 20 日 (日)

日本地球惑星科学連合の高校生によるポスター発表



先日の5月20日(日)千葉県幕張メッセ国際展示場で開催された日本地球惑星科学連合2018年大会の高校生によるポスター発表に、3年学究科の生徒4名が参加してきました。この連合は地球に関する50団体を越える学会の集まりで、今回は年に一回の発表の場でした。全国各地から地球科学について最先端の研究をしている多くの研究者が集まってきます。その一部の高校生によるポスター発表では、北は北海道室蘭栄高校から南は鹿児島県玉龍高校まで全国各地の78もの高校がポスターセッションを行いました。本校では一昨年度からの継続研究で扇沢周辺の花崗岩露頭の年代測定をした結果を報告しました。東京工業大学地球生命研究所の佐藤友彦先生のご指導と学習院大学の坂田周平先生のご協力で花崗岩に含まれるジルコンのU-Pb年代測定を行いました。長野県からは大町岳陽を含めて松本深志、飯山、諏訪青陵、屋代の5校が参加していました。巨大な幕張メッセ国際展示場の空間に日本全国から集まった多くの研究者が、研究の成果を発表しあう光景は圧巻であり、参加した4名の生徒もとても刺激を受けたことと思います。

